



# 学校だより



2022年 5月27日  
横浜市立港南台第一小学校

6月号

Email y3konan1@edu.city.yokohama.jp Tel 832-0210 Fax 832-7771  
URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/konandail/>



## はらはちぶんめ 腹八分目のススメ

副校長 竹端 岳

4月より本校副校長に着任した竹端（たけはた）と申します。

20年以上も前の話ですが、公務員を退職した父が経営する伊豆の温泉民宿に、当時わたしが担任をしていた子の少年野球チームが夏休み合宿に訪れました。合宿の最終日は午前で活動が終わり、昼食でわたしの両親が作ったカレーライスを食べた横浜へ帰る流れでした。作ったカレーライスはちょうど一人1杯分で、お代わりはありませんでした。食べ盛りの子どもたちが、お代わりがないことを残念がっていたのは、わたしにもよく伝わりました。帰り支度が終わり、一人ひとりがあいさつを述べていったのですが、感謝の気もちとともに、「最後のカレーライスがおいしかった。」という言葉が次々に出てきました。カレーライスは特製でも何でもなし、普通の家庭の味です。「もっと食べたかった」という、いわば「渴望感」というものがあつたのかもしれない。

以来、なぜかそのシーンはずっとわたしの心に残り、何かと自分の仕事や生活に当てはめて考えるようになりました。

4年生の担任だったとき、体験学習で金沢区にある野島研修センターを訪れ、皆で炊事をしました。クラスのある子が、出来上がったカレーライスがうれしくて、勢いよく何度もお代わりをした挙句、気もちが悪くなり、もどしてしまいました。わたしは「あのときと正反対の出来事が起きてしまった」と思わざるを得ませんでした。

45分授業の終わりごろ、子どもたちの対話が活発になり、活動にのめりこんでいたとき、いったん終了を告げると「えー、もっとやりたい！」と時間延長を願う声が上がりました。それでも次のスケジュールがあるので終わりにすると、子どもたちは休み時間に調べておこうとか、先生にあらかじめお願いしておこうとか、制約のある中でもそれなりに考えて行動していました。

我が子連れて公園へ遊びに行ったときのこと。「まだまだ遊びたい」という要求に応じ、日が暮れるまで目いっぱい遊ばせてあげました。ところが、いざ帰るとなると、疲れ果てて道中ぐずり出し、帰宅後のやるべき宿題、お風呂、歯みがき、寝る準備がおろそかになることがしばしばありました。今は終わりの時刻を告げて遊ばせるようにしています。

教師としては、また、親としては「好きなことを十分に味わわせてあげたい」と思うのが自然ですが、毎回叶えてあげることが、果たして子どもにとってよいことなのか、疑問に思うようになりました。子どもの好物と言っても、そればかりを与えることはできませんし、時間やモノ、お金には限りがあります。好きなもの、好きなことに際限なく費やせば、その分、逆に何か別のことを経験する時間や機会が奪われます。

何事も「しすぎ」はよくないと言われます。食べ過ぎ、飲み過ぎ、遊び過ぎ、勉強し過ぎ、ゲームやり過ぎ、お金使い過ぎ、働き過ぎ…その結果、心身の不調をもたらすことはすでに社会問題になっている通り、想像に難くありません。子どもたちには、ほどほどのところ、言い換えれば「腹八分目」でやめ、気もちを切り替えるくせをつけて、次の「楽しみ」へ進んでほしいと願っています。そして、そのようにマネジメントするのが大人の役割なのかな、とも思っています。

4月、プロ野球ロッテの佐々木朗希投手は、2試合連続完全試合達成かという寸前の9回、マウンドに立ちませんでした。2007年の日本シリーズ、中日の山井大介投手のときと比べ、否定的な意見が少ないと思うのはわたしだけでしょうか。



# 新体カテスト

5月11日、12日に新体カテストが行われました。今年は3年ぶりに低学年と高学年とがペアになって行動し、測定を行いました。高学年の児童が測定の見本を示したり、移動の際には積極的に声掛けをしたりしていました。1年生も初めての新体カテストでしたが、楽しみながら各種目を行う様子が見られました。保護者ボランティアの方々、暑い中ご協力いただき、ありがとうございました。



他学年と交流しました！



さすが高学年！



よーい、どん！！



## 1年生の感想

- <1組> たちはぼとびがたのしかったよ。ぜんぶたのしかったよ。おねんせいありがとう。
- <2組> たくさんがんばったら、いいけっかをのこせたからうれしかったし、たのしかったです。
- <3組> シャトルランがたのしかったです。おんがくにあわせてはしるのがたのしかったです。

